

TOLI 住宅セルフリフォーム吸着床タイル  
**PITAFI**  
LAYフローリング ピタフィー

# お手入れ 読本



## 使用上のご注意

- 素材固有の臭いがあります。貼付けた部屋で臭いを感じる場合は、しばらくの間、換気を心がけてください。時間の経過とともに徐々に無くなります。
- タイルとゴム製品が接するとタイル表面が変色する可能性があります。変色した場合は、変色したタイルのみ貼替えてください。
- 直射日光が入る場所では、変色の可能性があります。変色した場合は、変色したタイルのみ貼替えてください。
- 床暖房の床にタイルを貼付け、その上にカーペット、ソファ、家具などを長時間置いた場合、蓄熱してタイルが変質変色する可能性があります。変色した場合は、変色したタイルのみ貼替えてください。

## 日常のお手入れ

- ① 掃除機あるいは、硬く絞った雑巾やモップの水拭きなどで、床の埃やゴミ、汚れを取除いてください。水を流しながらタイルを洗うことはおすすめしません。
- ② 水を溢してしまったときは、すぐに雑巾で拭取ってください。また、タイル裏面に水が浸入していないことをご確認ください。放っておくと**変色やカビ・はがれ・臭い**の原因となります。
- ③ 基本的にワックスを塗布する必要はありません。ただし、より汚れや傷付きを防ぐためにはワックス塗布が有効です。塩ビタイル用の樹脂ワックスをモップや雑巾に浸して軽く絞り、床に2～3回塗布してください。その際、裏面にワックスが侵入しないように、ご注意ください。

## タイルを取外したときのお手入れ

- ① タイルをはがした後に、床（フローリングなど）が滑りやすくなる場合があります。その際は、床用の中性洗剤を染み込ませた雑巾でよく拭き、その後、床に残った洗剤を拭取ることによって軽減されます。尚、雑巾はマイクロファイバー製が特に有効です。中性洗剤は、床がフローリングの場合はフローリング用、ビニル床材の場合は、ビニル床材用など、専用のものをご使用ください。
- ② ワックスが塗布された床にタイルを使用した場合、はがした時にタイル裏面の吸着材の跡が一時的に床の表面に残ることがあります。跡は時間の経過と共に消えますが、ワックスの種類によっては取れにくい場合がありますので、必要に応じて雑巾掛けを行ない除去してください。

## 部分的に貼り替えるとき

- ① 貼付ける前にゴミを取除き、新しいタイルを仮置きして色調と大きさを確認します。
  - ② 部分貼替えたいタイルは、タイルの端にカッターナイフの刃などを入れて軽く浮かせた後、ゆっくりはがします。はがした部分に新しいタイルを貼付け、十分に圧着します。
- ※塩ビ製品の特性として、若干の寸法差があります。  
タイルが大きい場合は、無理に押し込まず、その部分から壁際までの一列をはがして貼直してください。

## 貼り付けたタイルをはがして保管するとき、材料が残ったとき

- |    |   |
|----|---|
| 保管 | ① はずして積重ねて収納できますので、掃除機をかけた後、床から丁寧にはずしてください。   |
|    | ② 表を上にして重ね、収納ケースなどに入れて寝かせて保管してください。長期間保管すると、タイル表面に吸着材の跡が残る可能性があります。その際、中性洗剤を染込ませた雑巾でよく拭取ってください。   |
|    | ③ 再び使用する場合は、タイル裏面を傷めないように、ゆっくりとはがしてください。<br>※保管は、平坦な場所で湿気が少なく、直射日光が当たらない部屋で行ない、最大7ケースまでの積上げとしてください。<br>※未使用の場合は、透明保護フィルムを貼ったまま保管してください。 |

- |    |   |
|----|---|
| 廃棄 | ● 不要になったタイルならびにタイル裏面の透明保護フィルムは、各自治体の分別ルールに従って廃棄してください。<br>(タイル:PVC、ポリエステル 裏面透明保護フィルム:PET) |
|----|---|